

Title	朝鮮古蹟圖譜八・九(朝鮮總督府發行)
Sub Title	
Author	松本, 信廣(Matsumoto, Nobuhiro)
Publisher	三田史学会
Publication year	1930
Jtitle	史学 Vol.9, No.1 (1930. 3) ,p.170- 170
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19300300-0171">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19300300-0171</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

### 朝鮮古蹟圖譜八・九 (朝鮮總督府發行)

本圖譜八は、關野、谷井、小場、澤の諸氏により、高麗時代の工藝品の墳墓中より發見されて遺品を選び圖譜としたもの、納本に先立ち大正十二年印刷と共に大震災にて烏有に歸し、關野、小川、澤の諸氏更に資料を補選編纂し、その中陶器のみをあつめて一冊としたもの、印刷精巧、よく高麗時代の藝術の粹を傳へてをる。圖版百六十九中七葉は美麗なる彩色版である。新羅時代の繼續なる素焼を初めとして、宋の影響を受けてなりたる青瓷白瓷、高麗人の創意になりし青瓷象嵌、また彼此の手法を折衷せる繪高麗下繪、搔落手、その他天目釉、雜釉、練上手等或ひは瑩潤或ひは華麗當時の優秀な技術をしるばせて余蘊ない。

圖譜九は陶器以外の金屬器玉石器に屬するものを集む。圖版百四拾九葉、初めの漆塗螺鈿及描金蒲柳龍樹水禽文香箱は、手法上珍さすべきものであす。鏡には、支那鏡を模倣せるものが多く漢式、唐式、宋元明式等種類に富むも要するに支那の亞流たる觀がある。三九四八號の女眞文字鏡は、言語學者に悦ばるべきもの、その外銅七、銅箸、銅製水瓶、銅壺、種々なる飾金具、合子、刀子、鉢等の小道具、鏡臺、銅印、貨幣、石硯、玉具等高麗文化の諸相を窺ふに足りる貴重な遺品を銅羅してある。新羅文化の余韻をなほ傳へ、一面宋元文化の影響を受けつゝ成育せる高麗工藝の盛觀をしるばせる好資料である。(松本信廣)

### 寄贈交換圖書雜誌目錄

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 明治維新史研究(史學會編纂)        | 史 學 會       |
| 薩道先生景仰錄               | ぐるりあ そさえて   |
| 廣島嚴島關係文獻展觀目錄          | 廣島史學研究會     |
| 校定出雲國風土記              | 島根縣皇典講究分所   |
| 日英交通史料(四)             | 武藤 長 藏氏     |
| 國學概論 伊藤武雄著 (金雞文叢第一)   | 金 雞 學 院     |
| 大鹽平八郎 安岡正篤著(人物研究叢利第十) | 金 雞 學 院     |
| 幽情集                   | 金 雞 學 院     |
| 直良石時代文化研究所報告四         | 直良石器時代文化研究所 |
| 朝鮮古蹟圖譜、八、九。           | 朝鮮總督府       |
| 古蹟調査特別報告、六。           | 同 上         |
| 備後史談、六の二、三、四、五。       | 備後郷土史會      |
| 朝鮮佛教、六九、七一、七二。        | 朝鮮佛教社       |
| 江戸文學研究、二の二、三、四、五。     | 江戸文學研究發行所   |
| 風俗研究、一一七、一一八、一一九、一二〇。 | 風俗研究會       |
| 現代佛教、七〇、七一、七二、七三。     | 大 雄 閣       |
| 藝文二十の二、三、四、五。         | 京都文學會       |
| 法律時報、二の三、四。           | 日本評論社       |
| 伊豫史談、六一。              | 伊豫史談會       |